

地区的取り組みを紹介します！

令和7年12月19日

第10号

阿見町防災危機管理課

☎029-888-1111(内線277)

あみ防災だより

防災まち歩きで再発見！地区の危険箇所



今年度多くの地区で防災まち歩きを実施し、「歩くことで危険箇所を知ることができた」など
の声が寄せられています。今回、11月に防災まち歩きを実施した2地区を紹介します！

富士団地

令和7年11月3日(月)、富士団地防災訓練の後に、防災まち歩きを実施しました。参加者は3班(1班約5名)に分かれ、団地内を歩きながら、消火栓や防火水槽の位置、浸水しやすい場所、倒れそうな塀、危険な交差点などを確認しました。その後、公会堂で危険箇所を地図に書き込み、全員で情報を共有しました。今後は、富士団地の地図に反映し、地区防災計画を作成していく予定です。



【写真上】危険箇所を地図に書き込む様子

一区南

令和7年11月16日(日)、防災まち歩きを実施しました。参加者は2班(1班約6名)に分かれ、地区内を歩きながら、消火栓の位置やホース格納箱、大地震時危険な塀や樹木、公会堂から避難所までの避難経路などを確認しました。その後、公会堂で危険箇所を地図に書き込み、全員で情報を共有しました。今後は、一区南の地図に反映し、地区防災計画を作成していく予定です。



【写真上】危険箇所を共有する様子



緊急地震速報にあわせて行動！『阿見町地震対応訓練』

令和7年11月5日(水)、消防庁が全国で実施する緊急地震速報の訓練放送に合わせて、『阿見町地震対応訓練』を実施しました。町職員だけではなく訓練放送を合図に、シェイクアウト訓練や屋外避難訓練、安否確認訓練などを行う行政区もありました。



役場庁舎では避難訓練だけではなく、様々な訓練を行いました。訓練風景を紹介します！



【写真上】
シェイクアウト訓練の様子



【写真上】
地震発生直後の火災を想定した初期消火訓練の様子



【写真上】
屋外に避難した後、各部長が職員の安否を報告する様子



【写真上】
阿見消防署が逃げ遅れた人をはしご車で救出する様子

福田 防災訓練

令和7年10月19日(日)福田農村集落センターにて、防災訓練を実施しました。

阿見消防署職員の指導のもと、水消火器を使用した初期消火訓練や心肺蘇生法などの応急手当訓練を行いました。応急手当訓練では実際のAEDを用いて中身を確認したほか、胸骨圧迫やAED取り扱いについて参加者同士で教え合う姿も見られ、真剣に取り組みながらも活気ある訓練となりました。

併せて、防災危機管理課職員による防災講話を実施し、参加者は『自助・共助』の重要性について改めて感じる機会となりました。

また、炊き出し訓練では参加者が協力してカレーを調理し、和やかな雰囲気の中で災害時の食の備えや地域のつながりの大切さについて学びました。

木村区長は「久しぶりに防災訓練を実施したが、多くの方に参加いただき、充実した訓練となった。今後も継続して実施していきたい。」と述べられました。



【写真上】水消火器を使用した初期消火訓練の様子



【写真下】心肺蘇生法を練習する様子



君島 防災訓練

令和7年10月19日(日)君島構造改善センターにて、防災訓練を実施しました。

阿見消防署職員の指導のもと、水消火器を使用した初期消火訓練や簡易担架作成訓練、三角巾を使用した応急手当訓練を行いました。簡易担架作成訓練では毛布と長い棒を使用した担架と毛布のみを使用した担架の2種類を作成しました。特に子どもたちは消防署職員のアドバイスを受けながら、協力して楽しそうに担架づくりに取り組んでいました。

また、応急手当訓練では参加者が2人1組になり、腕の固定方法や圧迫止血の手順を実際に体験しながら学びました。参加者同士で協力しながら、怪我の応急処置に役立つ技術を身につけていました。

小澤区長は「今回の防災訓練は、多くの人が集まる地区のお祭りの日にあわせて実施した。この機会を活かし、多くの方に防災への関心を持ってもらうことができ、充実した訓練となった。」と述べられた。



【写真上】毛布のみで作成した担架を体験する様子



【写真下】三角巾取り扱い訓練の様子